

県域 絶滅危惧Ⅱ類



環境省レッドリスト(2018) 絶滅危惧Ⅱ類(VU)

婚姻色の現れたメス。腹部の黄色の横帯は比較的明瞭に表れる。あわら市産 全長:約6cm

ハゼ科 ウキゴリ属

【全長】約7cm

シンジコハゼ

学名: *Gymnogobius taranetzi*

分布域

富山県～島根県の日本海側に
点在する。

生息域

主に汽水湖に生息し、
本県では北潟湖に生息する。



通常時のメス。近縁種と区別が難しい。

ビリングゴに似る。生息環境も近く、区別するには経験を要する。福井県では北潟湖周辺で生息が確認されている。第1背鰭の後縁はやや角張る。食性は動物食に偏った雑食性で小型の甲殻類や水生昆虫・付着藻類などを食べる。産卵期は3～4月頃とされ、産卵場所等の産卵生態ははっきり分かっていない。婚姻色はメスに顕著に現れ、腹部が黄色に色付き、第1・2背鰭・腹鰭・臀鰭と頭部下面が黒色に変化する。

水槽での飼育は淡水・汽水どちらでも可能。塩分濃度に対する適応は強い様である。餌は冷凍赤虫や配合飼料に慣れる。他種との混泳にも特に問題ない。水槽内では底層～中層を遊泳する。

在来種

汽水魚

※ 本県では北潟湖周辺に生息する。生息数は比較的多い。初春～初夏には水田の水路などの泥底部に多く見られ、2月頃からメスは婚姻色が現れ始める。